



平成 22 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 OMソーラー株式会社
代表者名 代表取締役 飯田 祥久
(コード番号・2401)
問合せ先
役職・氏名 担当取締役 阿久津 弘行
電 話 053-488-1553

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、事業拡大としての中国市場進出を円滑に行うため、中国の法人を割当先とする第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当」と言います。）に関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本第三者割当につきましては、募集株式の発行価格（払込価格）の下限が特に有利な金額に該当する可能性があることを踏まえて、平成 22 年 6 月 17 日開催予定の第 12 期定時株主総会での承認を前提といたします。

記

1. 募集の概要

- | | |
|----------------|--|
| (1) 募集株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 募集新株式数の上限 | 2,000 株 |
| (3) 募集金額の下限 | 10,000 円 |
| (4) 払込期日 | 株主総会の承認の日から 1 年以内の日で取締役会の決議により決定する日 |
| (5) 募集事項の決定の委任 | 上記に定めるもののほか、募集株式の募集事項及び割当に関する細目事項については、取締役会決議により決定する |

2. 第三者割当による新株発行の目的及び理由

当社は、かつて中国事業については、国内受注の悪化を受け当面停止する方針でありましたが、国内事業の安定および中国国内での環境ビジネスに対する意識の急速な高まりを受け、従前の自社独自の進出路線を改め、以下の方式にて再度中国進出を検討することを決定いたしました。

本格的な業務展開を停止してからも、引き続き現地での情報収集を継続して参りましたが、この度、OM ソーラーシステム導入に積極的な中国の法人との協議がまとまり、資本提携を伴う業務提携を視野に入れ、必要な資金を本第三者割当てによる募集株式発行により調達を行うおうとするものであります。中国の法人との業務提携は、当社の中国市場での事業展開にお

いて重要な位置にあり、当社の業績回復等を図り、企業価値・株主価値を向上させるのために最適であると判断しております。今後、具体的な内容につきましては、中国の法人との間で協議を進め、決定次第お知らせいたします。

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

払込金額の総額（予定） 金 20,000,000 円

(2) 調達する資金の具体的な用途及び支出予定時期

本第三者割当による調達資金は、中国での事業化推進資金として充当することを予定しております。具体的には、中国市場進出に係る準備資金及び中国の法人との業務提携のための運転資金等に充当する予定です。調達する資金の予定支出時期については、本決算年度内を予定しております。

4. 資金用途の合理性に関する考え方

中国の法人との業務提携を確実に進める上で必要となる資金に充当することは、当社の企業価値向上に資するものであり、合理的な用途であると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 発行価格の算定根拠

平成 22 年 6 月 17 日開催予定の第 12 期定時株主総会の承認をもって、本第三者割当における払込金額及びその他募集要項の内容について、当社取締役会にて決定する予定です。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により発行される新株式は合計で最大 2,000 株であり、現在の当社の発行済み株式総数 6,587 株式（普通株式 5,737 株、A 種株式 850 株）に対する割合は最大約 30%となります。新株式が最大数で発行される場合、一定の希薄化が生じます。

しかしながら、本第三者割当により、当社の財務基盤の健全化が図ることができ、中国市場進出及び市場拡大にかかる費用として充当されることから、今後の事業拡大及び企業価値向上に寄与するものであり、中長期的な観点から当社の既存株主の皆様にも資するものと判断しており、合理的であると考えております。

6. 割当先の概要

資本提携及び業務提携の内容が確定次第、お知らせいたします。

7. 今後の見通し

当社の財務体質を改善・強化し、中・長期的な成長と収益性改善に資するものと考えております。今後の業績に与える影響及び今後の見通しにつきましては、協議の内容が確定次第、併せて開示いたします。

8. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

区分	期別	第10期	第11期	第12期
		平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
売上高	(千円)	1,444,499	1,336,395	1,395,243
営業利益又は営業損失(△)	(千円)	△61,621	2,260	35,623
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	△68,441	11,718	29,715
当期純利益又は純損失(△)	(千円)	△77,127	8,390	△42,576
1株当たり当期純利益又は純損失(△)	(円)	△17,461.47	1,883.35	△7,915.75
純資産	(千円)	324,688	333,078	357,876
総資産	(千円)	956,302	928,673	1,760,046

(2) 現時点における発行済株式総数及び潜在株式数の状況(平成22年3月20日現在)

	株式数	発行済株式総数に対する比率
発行済株式数(普通株式)	5,737株	87.1%
潜在株式数(A種優先株式)	850株	12.9%

(注) A種優先株式は1株につき普通株式0.9株の割合をもって、以下に定める場合には取締役会が定める日に転換する。但し、A種優先株式発行後に普通株式の併合又は分割が行われた場合、その割合に応じて普通株式の割当株数を調整する。

①転換を請求し得るべき期間を経過後の日で、取締役会決議で転換の日が定められたときとする。

②普通株式が株式会社東京証券取引所、株式会社大阪証券取引所又は株式会社名古屋証券取引所並びに株式会社ジャスダックに上場されることが決定した場合で、上場日前1ヶ月間に取締役会で転換の日が定められたときとする。

(3) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

旧OMソーラー(株)との吸収合併

合併期日	平成21年7月1日
資本金増加額	30,500,000円
合併比率	当社：旧OMソーラー(株)／1：3
合併時における発行済株式総数	普通株式4,455株 A種優先株式850株
当該合併による発行株式数	普通株式1,830株
合併後における発行済株式総数	普通株式5,737株 A種優先株式850株
割当先	旧OMソーラー株主

(注) 当該合併による発行株式数は1,830株ですが、旧オーエム計画(株)が保有していた旧OMソーラー株式548株が合併により消却となり、実際の増加株式数は1,282株となります。

以上